

[第 165 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 8 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 9 月 13 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.238～
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2025 年 8 月 3 日(日)、安曇川公民館で第 164 回藤樹人間学塾を開きました。今回は大津市から 2 名を入れて 8 名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本の名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」巻八 義論の一 孝の心法、過ちを二度としない修養法を輪読し、資料も説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 483 号」、(2)田口佳史「友を以て仁を輔く」、(3)数土文夫「賢人と愚人の別は、学ぶと学ばざるによりて出来るものなり」、(4)五木寛之・帯津良一「人生の玄冬を歩く」、(5)切に生きる(道元)、(6)NHK こころの時代「闘うガンディー」

■ 今日のポイント

- ・ 孝の心法…孝は天地が形をなさない前から存在し、太虚(大宇宙)の神道である。…藤樹の「全孝図」で説明しました。蕃山の「心法図解」も図に描いて説明しました。
- ・ 賢人と愚人の別は、学ぶと学ばざるによりて出来るものなり…我が国に複式簿記を紹介した福沢諭吉の見識—複式簿記について質問があったので説明しました。
- ・ 人生の玄冬を歩く…「百歳人生もいまが積み重なってそこに至る。先のこと、死のことを考えるのも大事だけれど、何よりもいま、この瞬間を精いっぱい生きる」—五木寛之(92)、「老化と死を受け容れた上で、楽しく抵抗しながら自分なりの養生を果たし、生と死の統合を目指していくナイスエイジングこそが大事です」—帯津良一(89)。
- ・ 切に生きる…成功する人は努力する。努力する人には志がある。志がある人は、人間必ず死ぬということを知っている。志のない人は、人間が必ず死ぬということを本当の意味で知らない。その差だ(道元)。
- ・ (以下略)

■ フリートーク

- ・ 「本塾は、内容が濃くて大変充実している。資料の準備がたいへんだらうと思う」
- ・ 「参加して今後の自身の人生を考える良い機会になった」
- ・ 「複式簿記が分かって頭がすっきりした」
- ・ 「7/30 の日経新聞に工業高校の長い黄昏…、という記事あり。今後の日本を考えると心配だ」
- ・ 「物事の善悪を見極めることが難しいが、自分の頭で考えて見極めていきたい」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

